

# 東雲夢通信

平成二十九年誌

東雲中学校校長室通信

文責 校長 渡邊 和彦

平成二十九年四月二十一日発行第一号

よろしくお願ひ致します

校長の渡邊和彦です。これから、東雲夢通信と銘打って、学校便りを発行します。月に二回以上が目標です。学校の様子をわかりやすく、そして家庭や、地域と学校をつなぐツールとなれるよう作成していきます。

また、私は、この上浦で幼稚園から高校二年生まで育てられましたので、夢のような少年時代を振り返りながら、懐かしい話や、しくじり話、過去に出会った感動的な体験など、織り交ぜて取り上げるつもりです。夢通信とあるのは、生徒たちに夢を抱いて欲しい、そしてその夢は、必ず実現させることができる、と信じてほしいから。また、私の思い出は、もしかしたら正確ではなく、夢だったのかも知れないと感じているからです。よろしくお願ひ致します。

## 新任式 始業式

四月十日、新任式始業式がありました。新しく着任した先生を紹介致します。

校長	渡邊 和彦
(英語科)	
教頭	一法師 直喜
(体育保健科)	
狩生	真司 先生
(社会科)	
渡邊	恒 先生
(英語科)	
矢羽田	直希 先生
(美術科)	
池田	早織 先生
(養護)	
乙津	寿美 先生
(栄養)	
大沼	美子 先生
(特別支援)	
富高	ひろこ 先生
(事務)	



※上の段左から渡邊、一法師、狩生、渡邊恒、下の段左から池田、乙津、大沼、富高です。矢羽田は欠席でした。

## 十一日入学式がありました



あいにくの細かい春雨の中でしたが、満開の桜に迎えられて、二十三名の新入生が入学式を迎えました。みんな堂々として表情が明るくてすてきでした。松下PTA会長さんの「勉強運動ももちろん大事だけど遊ぶことも大事」という祝辞のメッセージが印象的でした。これからはチーム東雲のメンバーです。風雪、嵐、波浪の中でも堂々と威厳を持って存在する豊後二見のようになくましく凛々しく生きていきたいと思います。中学校には「個性」を伸ばすチャンスがいっぱいあります。そして、上浦を飛び出して、全国に羽ばたくチャンスも。部活動、英語、修学旅行、進路決定...さあ、夢のはじまりです!!!

## 歓迎遠足が行われました

二十一日、満開の桜の下を歩いて瀬会公園まで歓迎遠足が行われました。出発前、体育館で対面式、部活動、生徒会活動の紹介も行いました。全国レベルで活躍する陸上部の紹介を聞いたときは、誇りです。

胸がいつぱいになり熱いものがこみ上げてきました。考えてみると、人数は少ないけど東雲の子どもはどの活動も全国に羽ばたくチャンスを持っています。ブラスは少人数の部で、金賞を狙って欲しい。卓球は男女ともに市で優勝して、全国へ！水泳、陸上も自己新を次々クリアして全国へ！硬式の野球クラブもすでに全国区、女子バレーボールのクラブチームも、勝ち進んで東雲魂を見せて下さいね！



桜が美しかったです。そして、瀬会海岸も。こんな素晴らしい景色の中、遠足できるって最高です。瀬会海岸がこんなに美しいのは、長い長い間、町の人々が海岸を守り続けたからです。私が小学生の頃から全く変わらない、美しさなんです。きつと日本一美しい町を！と高い志を、上浦の皆さんが持っていたのです。どうか、そんな事も時々でいいので、想像してみてください。

## サドが好きです



この時期になると、野山、特に川のそばに、生える左の写真の植物をごぞんじではないでしょうか？正式名は「いたどり」と言うらしいのですが、僕らはサドとかわりました。これはポキンと音をたてて気持ちよく折れます。そして皮が剥け、塩を付けて食べるとしよっぱすっぱくて、さわやかな酸味が口いっぱいに広がるのです。私の好物でした。線路周辺にたくさん生えていて、しかも、線路のそばの物は、大きく太かったのです。なのに、私の母親は線路周辺のサドを私が食べるのを禁じました！（泣）さて、問題です。なぜでしょうか？いろいろな理由を、お父さんお母さん方と相談しながら考えてみてね。